

データでみる

王寺町

100年の歴史を歩んできた王寺町の姿を、データで紹介します。

町制施行日

大正15(1926)年2月11日

奈良県の15町の中で5番目に古い

町域の変遷

- 明治9(1876)年・・・門前村が王寺村に合併される
- 明治22(1889)年・・・王寺村と藤井村が合併し、王寺村に
- 大正15(1926)年・・・王寺村が王寺町に
- 昭和32(1957)年・・・香芝町畠田(尼寺除く)が王寺町に編入

王寺駅の鉄道乗降客数



※近鉄王寺駅・新王寺駅含む

約5万人/日

王寺町への鉄道乗り入れ数

2社4線

- JR西日本 関西本線、和歌山線
- 近畿日本鉄道 生駒線、田原本線

奈良県内のJRの駅で1位



※JR王寺駅 出典:奈良県「令和4年度 奈良県統計年鑑」

住みこちランキング

令和2年 全国1位



6年連続

令和元年～6年 奈良県内1位



出典:大東建託「街の住みこちランキング」2019～2024年

面積

7.01km²

甲子園球場
182個分

東西 4.2km、南北 3.4km

全国1,724市町村※の中で25番目の小ささ

※令和7年1月1日現在

土地利用状況

山林・原野
約21.4%
(122万2,474m²)

田畑
約8.8%
(50万2,102m²)

宅地
36.4%
(207万2,299m²)

雑種地・その他
約33.4%
(190万3,841m²)

町花 さつき



常緑性小低木で原産地は本州中部以西九州までとされています。この花は王寺町に育ちやすく、また愛好者が多く、長期間楽しませてくれます。

町木 梅



落葉中木で原産地は中国。花は香り高く実は食用になります。この木は町制施行日である2月11日頃に花を咲かせます。また「梅は百花のさきがけ」と言われ、王寺町のますますの発展をイメージしています。

町章



王は王寺の頭字を使い、○(まる)はローマ字のOJIの頭字を使い、平和を愛好する精神と、限りない将来の発展を意味づけています。また、現代の交通機関は、○(まる)すなわち車輪であり、交通に恵まれていることの表現であり、画きやすく表しています。

町民憲章

わたくしたちは「和の鐘」がなる王寺の町民です。元気でたけなまにまことにしましょう。きまりをよくまもり住みよいまちにしましょう。未来をつくる子供のしあわせなまちにしましょう。道路も川も草も木もきれいなまちにしましょう。

和の日

王寺町では、「和」の心を認識し、王寺町を愛する気持ち、また、今の時代に欠けている思いやりの気持ちを後の世代に継承していくことをみんなで考える日として9月23日を「和の日」と決めました。

人口 24,043人

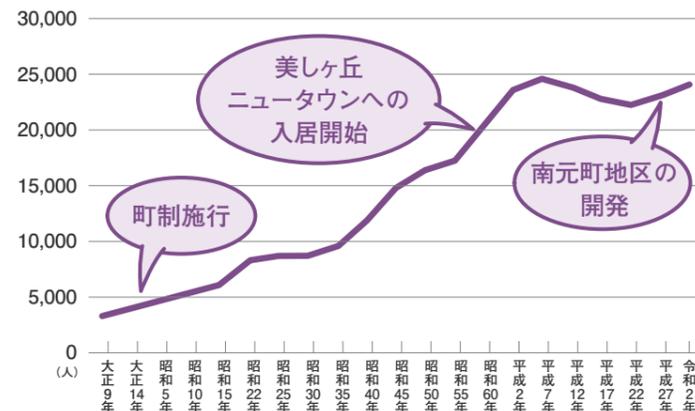
世帯数 10,031世帯

人口密度 3,429.8人/km²

奈良県内の市町村で3番目に高い

出典:総務省「国勢調査」2020

100年間の人口推移



出典:総務省「国勢調査」大正9年～令和2年